

「遊び 学び 育つひろしまっ子！」の実現に向けた

カリキュラム開発ガイドブック



ガーベラの花言葉：希望・常に前進

令和3年1月 広島県教育委員会

はじめに

県内の幼稚園・保育所・認定こども園等（以下「園・所等」という。）においては、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、それぞれの園・所等の教育・保育の理念や建学の精神を踏まえて、カリキュラムを編成し、日々の教育・保育を実践されています。

広島県教育委員会・乳幼児教育支援センターでは、平成30年度・平成31（令和元）年度の2年間において、「『遊び 学び 育つひろしまっ子！』の実現に向けたカリキュラムの研究開発事業」として、研究開発指定園（以下「指定園」という。）4園を指定し、それぞれの指定園に、これまでのカリキュラムを大切にしながら、「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランにおける乳幼児期に育みたい「5つの力」の育成の視点で、カリキュラムを見つめ直していただきました。具体的には、Step 1「遊びの中の子供の姿から学びを読み取ろう！」, Step 2「気付いたことを共有しよう！」, Step 3「環境構成・援助を考えよう！」, Step 4「実践してみよう！」, Step 5「実践を見直そう！」の5つのStepに沿って、子供たちの遊びの様子を見取り、保育を振り返りながら、カリキュラムを見つめ直していただきました。

このガイドブックは、その集大成として、指定園の2年間にわたる取組を盛り込み、まとめました。指定園が歩んでこられたカリキュラム研究開発のプロセスの中での気付きや悩み、成果を得たときの喜びなどが詰め込まれています。

指定園のカリキュラムそのものを参考にするだけでなく、指定園でのチャレンジ、試行錯誤の取組を参考にしていただき、皆様の園・所等で「これって真似してみたい」、「これならできそう」というところから取り組んでいただくなど、このガイドブックをご覧いただいた皆様の取組につながるヒントとなれば幸いです。

【研究開発指定園】

尾道市立因島南認定こども園
学校法人三光学園千鶴幼稚園

学校法人IGL学園サムエル信愛こどもの園
東広島市立御園宇幼稚園

～目次～

◆カリキュラムとは	P 1
◆カリキュラムを見つめ直そう！	P 2
◆カリキュラム研究開発実践事例	P 11
◆指導計画例	P 29



カリキュラムとは…

カリキュラムの語源

「カリキュラム (curriculum)」の語源「currere」は、「走路」、「走る」、「履歴」などの意味があるといわれています。

カリキュラムの役割

乳幼児期の教育・保育をマラソンに例えると…
「走路=教育・保育の計画」としてのカリキュラム
「走った過程=子供の経験（育ちや学びの履歴）」としてのカリキュラムの2つの役割があるといえます。

「走路=教育・保育の計画」としてのカリキュラム

「こんなコースを走ってくれたらいいな（こんなことを楽しんでくれたらいいな）」と考えながら、子供たちが走るコース（計画）を予め作ったり、整えたりします。

「走った過程=子供の経験（育ちや学びの履歴）」としてのカリキュラム

実際の保育の中では、子供たちは、保育者の考えていたコースどおりに走るとは限りません。あるときは、自分たちで作ったコースを走り始めたり、またあるときは、立ち止まつたり戻ってみたり…このような姿は全て子供たちにとって、育ちや学びの履歴となります。

カリキュラムを作る意味

カリキュラムは、保育者にとって、自分の保育を見つめ直すきっかけとなるものです。「走った過程=子供の経験（育ちや学びの履歴）」をもとに「走路=教育・保育の計画」を見直すことは、次の保育につながっていきます。



カリキュラムを見つめ直そう！

Step1 から Step5 に沿って、子供たちの遊びの様子を見つめ、

保育を振り返りながら、自園・所のカリキュラムを見つめ直してみましょう。





遊びの中の子供の姿から 学びを読み取ろう！

見つけたね！何に気付いたのかな？



みんなで考えたり、話したりしながら、友達との関わりを深めているね。自分とは違う考えを知ったり、共感し合いたいすることってとっても大事！

小さな口のペットボトルにどうやったらうまく水を入れられるかよく見て学んでいるね。



興味のある物へ自分の力で近づいていったね。
これってどういうこと？



↗このような子供の姿について書いてみると…↓

例えば！

ハイハイなどの移動ができるようになると、興味をもった物に向かって近づき、見たり触ったりする姿が見られる。

思いを向けたところに自分の力で進むことの楽しさを味わっている。

発達の姿

子供の様子

学びの姿の読み取り

4～5人の友達と同じ場所や物を共有して一緒に遊ぶ姿がよく見られるようになるが、それぞれの興味・関心が向かれているところは違っている。

自分と友達の違いに気付きながら、場や物を共有することを学んでいるようだ。

子供の様子

学びの姿の読み取り

「学びの視点」のススメ

遊びの中で子供は何を学んでいるのかという視点をもって子供の様子を見て、感じたことを書きましょう。

同じ場所で遊んでいても
一人一人の興味は違うようです。

ハイハイなどの移動ができるようになると、興味をもった物に向かって近づき、見たり触ったりする姿が見られる。

思いを向けたところに自分の力で進むことの楽しさを味わっている。



**遊びの中の子供の姿から
学びを読み取ったら…**



気付いたことを共有しよう！～園・所内の先生

4～5人の友達と同じ場所や物を共有して一緒に遊ぶ姿がよく見られるようになるが、それぞれの興味・関心が向かれているところは違っている。

自分と友達の違いに気付きながら、場や物を共有することを学んでいるようだ。



どうしてこの遊びに夢中になっていたのかな。

わくわく感を共有しながら遊ぶことを楽しんでいるのだと思うわ。

僕は、この遊びにおける子供たちの姿をこんな風に読み取ったけれど、他の先生はどう見ているかな？

葉っぱの形や色を見比べて、違いに気付いているのかもしれないね。



寝転ぶと体が葉っぱで埋まるかもしれないと思ってやってみているんじゃないかな。

友達と一緒に試行錯誤しながら遊び楽しさをもっと味わってほしいな♥

他には、どんなことに興味をもつのか知りたいね。いろいろなことに興味をもって、自分から関わる経験をたくさんしてほしいな♥

ねらいは子
ねらいは…
話し合いで出てきた保育者の願いを
子供の立場で書いたものです。

Point

発達の姿

遊び

ハイハイなどの移動ができるようになると、興味をもった物に向かって近づき、見たり触ったりする姿が見られる。

思いを向けたところに自分の力で進むことの楽しさを味わっている。

ねらい

経験内容

興味をもったことに自分で動いて関わることを繰り返し楽しむ。

生活の様々な場面で、自分の力で移動したり、その子なりの表現をしたりすることで、興味の所在や、心を動かしていることを認めてもらう。

園内の様々な場所で起きていることや物について、見たり、聞いたり、嗅いだり、触ったりする。

共有したことや自分とは違う読み取りを
どんどん書き込もう！

方と話してみよう！～

保育カンファレンスのススメ

「保育カンファレンス」とは、医師、看護師、カウンセラーなどの専門家が行う臨床事例に関する協議や意見交換を保育に適用したものです。保育者が同僚と多様な意見を交わすことで、日々の保育を振り返り、新たな気付きを得ることができます。保育カンファレンスが有効に機能するために、大切にしたいポイントがあります。

- ・多様な意見を認め合う
- ・保育者の安心感を高める
- ・個別具体的な事例をもとに語り合う
- ・感情交流を基盤にする
- ・コミュニケーションを促す
- ・一人一人の強みや持ち味を発揮する

これらのことの大切にしながら、自園の保育を振り返りつつ、子供理解を深めませんか？

Point

4～5人の友達と同じ場所や物を共有して一緒に遊ぶ姿がよく見られるようになるが、それぞれの興味・関心が向けられているところは違っている。

自分と友達の違いに気付きながら、場や物を共有することを学んでいるようだ。

友達と一緒に試行錯誤しながら遊ぶ楽しさを味わい、友達と自分の違いに気付く。

夢中になって遊び込む。

友達との関わりを深め、友達のいいところや自分と違うところに気付く。

考えたことを友達に知らせたり、行動に移したりする。

一人で比べたり試したりする楽しさをじっくり味わう。

ねらい

経験内容



気付いたことが共有できたら…



環境構成・援助を考えよう！

ひと

「ハイどうぞ、おいしいですよ。」

Step2で読み取った子供たちの学びや願いを支える環境構成や援助って、具体的にはどんなことかな？

「へえ～、面白いお話だね！」

気持ちに寄り添い、次の行動や言葉を待つ援助



一緒に遊び、子供の意欲をかきたてる援助

「こっちにも並べるよ～」



必要に応じて、子供の発想が広がるような遊びの提案をする援助



真剣な気持ちに共感しながら、見守る援助

子供たちが興味をもつ物ってどんな物だろう？

もの



材料がたくさんある！



手に取りやすい！



いつでも使える！
自由に使える！
選んで使える！



こと



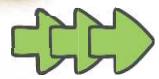
遊び込める時間や場所があること



子供が自分で遊びや環境を作り出せること



一人一人が大事にされていると感じられること



環

境

構

成



援



助

考えたり、話し合ったり
した環境構成や援助を
書き込もう！

- ◎…ねらい(Step2 のねらいより)
- ☆…保育者の援助
- …環境の設定



- ◎興味をもったことに自分で動いて関わることを繰り返し楽しむ。

☆子供が自分たちで遊びを進める様子を見守る。

- 昨日の続きを十分で遊び込めるように、時間の確保をする。

- ◎夢中になって遊び込む。

☆保育者も一緒に遊びながら、より意欲が持てるようとする。

- 子供たちがすぐに使えるように、手に取りやすい位置に道具などを置く。

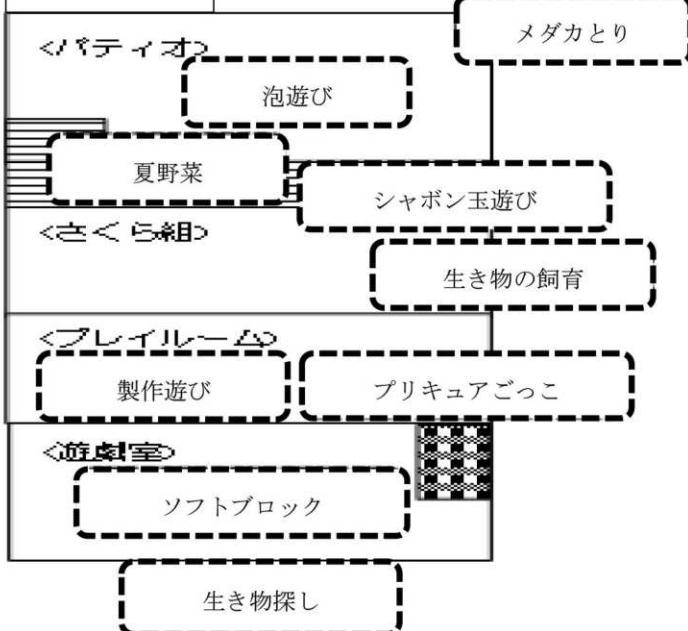
- ◎友達と一緒に試行錯誤しながら遊ぶ楽しさを味わい、友達と自分の違いに気付く。

☆友達とどんな会話をしながら遊んでいるのか、耳を傾ける。

- ☆子供たちが欲しいと言っていた材料と一緒に探しに行く。

- 見つけた材料を使って遊びを広げられるように、スペースを空けておく。

保育室





環境構成・
援助を考えたら…



実践してみよう！



ひと こと
2つの三輪車を離れ
ないよう連結して
工夫しながら樂
しさを共有して
います。



子供の育ちや学び
が見えたところを
書き足そう！



Point

子供の姿に合わ
せて環境を変え
たところなどを
書き足そう！



つばめの巣作り
を見つけた子供
たちに、図鑑を渡
しました！



実践したらう

Step 5

実践を見直そう！

遊びの中の新たな
学びも読み取ろう！

発達の姿

4～5人の友達と同じ場所や物を共有して一緒に遊ぶ姿がよく見られるようになるが、それぞれの興味・関心が向けられているところは違っている。

自分と友達の違いに気付きながら、場や物を共有することを学んでいるようだ。

ねらい

友達と一緒に試行錯誤しながら遊ぶ楽しさを味わい、友達と自分の違いに気付く。

夢中になって遊び込む。

遊び
経験内容

友達との関わりを深め、友達のいいところや自分と違うところに気付く。

楽しさを共有するために工夫をする。

考えたことを友達に知らせたり、行動に移したりする。

友達との対話の中で、意見や思いの違いに気付き、葛藤を味わう。

一人で比べたり試したりする楽しさをじっくり味わう。

環境構成

子供の遊びの様子に応じて、用具や材料を柔軟に移動させる。

図鑑や絵本など、すぐに取り出せるように準備しておく。

③友達のいいところや友達と自分の違いに気付く。
☆友達とどんな会話をしながら遊んでいるのか、耳を傾ける。
☆子供たちが欲しいと言った材料と一緒に探しに行く。
●見つけた材料を使って遊び広げられるようにスペースを空けておく

・
援助

付箋のススメ

メモ書きのように付箋を使うと…

- ・誰でも参加できる
 - ・時間に捉われず好きな時に書ける
 - ・見直しの際、整理や分析がしやすい
- などのメリットがあり、気軽に書けます！



ひと もの
絵の具や段ボールなどを外に持ち出しました。

